

坂東工場に羽柄材加工機4基増設

ポラテック

合板加工機も4工場で増設

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）は、羽柄材・合板加工の要望が高まっていることに対応し、坂東工場にある2×4コンポーネント部門を外部化し、羽柄材加工機（ロボットとのセット）4基を設置する計画を明らかにした。併せて合板加工機（トーアエンジニアリング十ロボット）4基も追加。名古屋、富士、滋賀、佐賀に導入していく。機械設置は2020年2月以降を見込んでいく。

同社はプレカット最大の9月度加工実績は、大手で、さきごろ佐賀構造材12万7577坪の第2工場建設を（前年同月比2・7%発表）した。同社は「大増」、羽柄材7万931坪（同6・0%増）の依頼が増えた。加増）、合板6万3791坪（同10・5%増）工箇所が増加しているため主力の坂東工場に羽柄材加工専用工場を設けることにした」と話している。

を想定して、機械を増設することにした。坂東工場内の2×4コンポーネント部門を近隣に移設し、提携工場に発注を増やすことで羽柄加工場のスペースを確保する。

合板加工機は、5月に稼働を始めた名古屋工場に1基増設するほか、富士、滋賀、佐賀にも増設する。

非住宅木造は1万2406・1坪、比率は10・4%で3カ月連続で目標とする10%以上を維持し、安定してきた。外販受注は3668棟（同0・1%減）、外販売り上げ3535棟（同9・5%増）だった。4～9月の中間期で

は、構造材が67万4237坪（前年同期比1・8%増）、売上高442億5000万円（速報値、同3・1%増）と好調で「利益面でもそこそこ」同社。このまま年内は忙しい状況が続き、20年3月期は構造材加工で138万坪、売上高900億円を予想している。